

「日本の遺伝子を、前へ」



村上 雄二 MURAKAMI YUJI

愛媛県の製紙技術者出身。地元の愛媛大学卒業後、愛媛での就職を経て都内の大手銀行に勤務。しかし、大手同業の大規模に地元愛媛でのホテル立ち上げを画られ、愛媛に戻る。現在は、全県に7店舗、食料・宿泊に5店舗を展開する今治タオル取扱店「伊織」を中核ブランドとし、愛媛の製紙産業を次世代に継承することをミッションにした「ISFACTORY」、100年以上前に生まれた岡土阿波・宇和島製紙を復興させた「丸太」(がんすい)、愛媛出身のアーティスト・石本雄雄氏プロデュースのブランド「MUSTAKIVI」など、地域資源を生かした創発的なブランドを展開する。株式会社YES LOCAL 取締役CFO、そしてその中核事業である株式会社伊織 代表取締役社長を兼任。

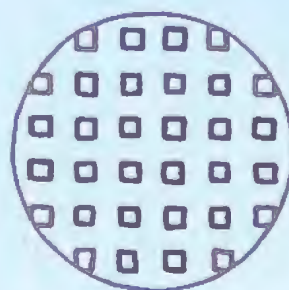


ブランドコンセプト

伊予国の伝統と技術を活かした
タオルの探求による
豊かなライフスタイルの提案。



「伊織」はタオルの専門店として、こだわりの日常品から豊かな生活につながるライフスタイルグッズまで、タオルの可能性を追求しています。その昔、伊予国と呼ばれた四国愛媛県の北部に位置する今治は、温暖な気候と水に恵まれて発展した百二十余年の歴史と伝統を受け継ぐ国内最大規模のタオル生産地です。伝統ある産地の技術力と、日々向上する新たな知識を積極的に取り入れ、「伊織」にしかできない、毎日を楽しむためのデザインで、四国・愛媛から世界に発信していきます。



伊織

<http://www.i-ori.jp>

Reliable Quality Made
by Genuine Craftsmen
with Heart

商品展開

Roll out our products

今治の伝統と技術に裏打ちされた
確かな品質の可能性を追求、
タオルを通じた、
新しいライフスタイルをご提案。



定番な種類のタオルに加え、スタイ、スリーパー、おくるみなどバリエーション豊かなベビーアイテムから、ブランケット、タオルマスクなどタオルの特性を活かした様々なライフスタイルグッズもご用意。旗艦店舗では、愛媛を中心とした四国・瀬戸内の「上質な良いもの」を厳選したセレクトコーナーも展開。



通年お楽しみ頂ける無地やパターンのスタンダードなタオルは、素材や織り、柄、カラーの違いなどの豊富なバリエーションで展開。企画タオルとして施設や立地の条件に特化する店舗限定タオルや、異業種企業やアーティストとのコラボレーション商品も販売。



◆日本国内
首都圏3店舗、大阪1店舗、
愛媛2店舗の計6店舗を展開。
(東京・大阪・愛媛)

◆海外
台湾5店舗、香港3店舗

◆EC (通販)
国内EC (伊織 公式オンライン
ショップ)
海外EC (For Purchases Outside
of Japan)

MIKAN / EHIME / JAPAN

大切につくられたみかんのある豊かな暮らし。
おいしくて、美味しいものを、気の合う仲間と食べる喜び。
10TENは、そうしたシンプルで豊かな暮らしを、
未来へとつないでいきます。

COMMITMENT

10TENの10のこだわり



- 01 美味しいこと 美しいこと
- 02 だれが、どのように作ったかが分かるものだけ
- 03 安心、安全に対する思いの共有
- 04 自然のちからで育てることを大切に
- 05 自然のサイクルに合わせたラインナップ
- 06 みかんの良さを引き出すためのレシピとパッケージ
- 07 こだわりの手法による加工
- 08 すべての工程に対して責任を持つための適正価格
- 09 愛媛のみかん産業を継承するための工夫
- 10 豊かな暮らしにつながる提案であること



『地域性、店舗コンセプト及び環境を総合的に判断しデザイン選定。ディスプレイ・仕掛け・照明・サイン計画など細部にこだわった店舗設計で空間を演出。』

◆設計協力パートナー
SUPPOSE DESIGN OFFICE
Landscape Products Co., Ltd.
graf
upsettters architects
OTHERS

10
TEN



愛媛のみかん産業を継承するために

愛媛県は温州みかんの収穫量において全国2位、そして、かんきつ類全体の収穫量では日本一です。また、かんきつ類の品種数においても日本一であり、まさに日本一の「かんきつ王国」です。

現在、全国のみかん産地の平均年齢は65歳を超えているとも言われ、愛媛県においてもみかん産地の高齢化は深刻な問題となっています。

10TENは、日本一である愛媛のみかん産地の魅力を最大限に活かすオリジナル商品を提案することで、世界に誇るブランドを創り上げ、愛媛県のみかん産業を次世代につないでいくことを大きな目標としています。



10"TEM"は、日本一であるみかん産業の魅力を最大限活かしたオリジナル商品を展開することで、世界に誇るブランドをつくり上げ、愛媛県のみかん産業を次世代につなげていくことを大きな目標としています。

10FACTORY 松山本店
〒790-0004
愛媛県松山市大街道3-2-25

10FACTORY 彦根店
〒790-0042
愛媛県松山市彦根通西1-2-34

10FACTORY 藤田店
〒790-0051
富田郡中内区藤田6-10-1 GINZA SHK 02



100年以上守られてきた「宇和島製めし」の元祖「あめ」。
国産の原料、愛媛県宇和島で受け継がれてきた製法
の味を受け継ぐため、店舗を松山に移し、宇和島の新鮮
な果物の産地と製法のタレ、最高の食材と手間を惜しま
ぬ仕事で「本物の味」をお届けします。

あめ 松山店
〒790-0004
愛媛県松山市大街道3-5-4

あめ 彦根店
〒790-0042
愛媛県松山市彦根通西1-2-10



松山城ロープウェイ通りにオープンした、「愛媛の銘産 久五郎」
(ひさごろう)はお客様を笑顔にしたゆとりある空間
で、「香る日本一」と評される新選酒をはじめとした愛媛の銘
産がおいしくいただけるお店です。

松山城ロープウェイ 久五郎
〒790-0004
愛媛県松山市大街道1-2-10

MUSTAKIVI



愛媛県出身で元マリメッコデザイナーのアーティスト
石本麗雄氏プロデュースのブランドです。
故郷である愛媛県松山町の伝統的なやさしい「延郎
焼」をはじめ、オリジナルパッケージの「和菓子」
や「茶葉」は、石本麗雄デザインの色鮮やかなパッ
ッケージで贈り物としても喜ばれます。MUSTAKIVI
ならではの伝統的な「和」と石本麗雄による洗練さ
れた北欧のエッセンスのMIXが醍醐味。



「伝統と革新」
タオルの街「今治」で育まれた100年のタオル製造技
術を通して、古きものを活かす、愛する人への想いをこ
めたタオルをお贈りすることを大切にしている伝統
タオルメーカーです。
長年のエステサロン専、美容師専門のプロコース（商
用）タオル製造で培ったノウハウを活かし、伊達ブ
ランドタオルの製造工場としての役割も担っています。

愛媛の食卓
1970

蛇口をひねると、みかんジュースが?

愛媛の都市伝説「蛇口からみかんジュース」
の専門店が近世にオープンしました。

店内入口から奥までずらっと並んでいるのは、
桜橋の品種別みかんジュース専用蛇口。

なんと約20種類の蛇口がお出迎えします。

さまざまな品種の桜橋を栽培している愛媛だからこそ
実現した圧巻の蛇口飲です。

愛媛の食卓1970
〒790-0042
愛媛県松山市色色通12-30



Medetaimo (メデタイム) "はMedetate (めでたい)
Yei (恵)・Yime (同・恵) から生まれた言葉です。
北海道日本一を誇る愛媛産桜橋で選れた高糖を軸に、
愛媛の銘産「国産」や多種を加え加工品をはじめ、
専門店ならではの圧巻的パッケージと品質でご提供
します。

Medetaimo (メデタイム)
〒790-0004
愛媛県松山市大街道3-7-4



古来より静岡の良き魚として日本人に愛されてきた鰯。
万福久では、瀬戸内の新鮮な鰯に毎日産出し、丁寧に丁寧に
出汁をいれています。
昔からの伝統をたもつお汁は、まさに健康の源。
鰯のもつ温かい力と共においしくおいしくお召し上がりください。
みなさまに万福久が喜ばれますように。

松山城ロープウェイ 万福久
〒790-0004
愛媛県松山市大街道1-2-10





2018年3月20日、「KITTE丸の内」に「伊藤」と愛媛のアンテナショップ「シン・エヒメ」がオープンしました。愛媛のおいしい！たのしい！うつくしい！を発信する場所として生まれた、新しいカタチの愛媛のアンテナショップです。物産豊かな「県」はありませんが、瀬戸内海に面した豊かな自然と美味しい食材、匠の技が光る伝統工芸など、愛情たっぷりにつくられた「モノ・コト」がたくさんあります。

【店舗情報】
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目7-2 KITTE丸の内2F

ローカルテーマパーク構想の概要

街全体のテーマパーク化

全国の中核市(人口30万〜50万前後)の市内中心部一定範囲をテーマパークと想定し、その範囲内に地域資源を活用したアトラクション、ショップ、レストラン、ホテルをバランス良く配置し、既存の観光名所や地元の名店と繋がることで、街全体の回遊性と魅力を高め、観光客も地元民も集まるまちづくりの構想



施設展開計画①

石本藤雄デザインミュージアム

開業予定:2026年春
施設コンセプトや展示内容(地元文化×デザイン)



ローカルテーマパーク構想の概要

目的

人口減少を迎える中、今後、各県の中核市に様々な機能をコンパクトにまとめていき、人口を集約していく事が必要になってくると想定され、中核市の果たす役割は今以上に大きくなると思われる。

その中核市の中心部に圧倒的な賑わいを創出する事で、その県全体の地域資源を守り、発展させていく事を目的とする。



Local Theme Park 構想

石本藤雄デザインミュージアム 1. ABOUT US

FLOWERS Inc.

株式会社FLOWERS (フラワーズ)

事業内容:愛媛のライフスタイルブランド
「Mustakivi」の運営


2016年から、愛媛出身のアーティスト、石本藤雄と共に、愛媛の工芸品を活用した商品開発を行い、それらを幅広い地域に届けるためのブランド展開を進めています。



石本藤雄デザインミュージアム 2. FUJIWO ISHIMOTO FLOW ERS Inc.

Fujiwo Ishimoto
Artist

石本藤雄は、1948年東京都生まれ。グラフィック・デザイン・イラストレーションの分野で活躍。デザイン事務所「藤雄デザイン」を主宰。1980年代後半から、フィンランドのライフスタイルに魅了され、そのデザインを日本に紹介する活動を開始。近年、フィンランドのライフスタイルをテーマにした展覧会を開催し、多くの観客を集めた。また、フィンランドのライフスタイルをテーマにした展覧会を開催し、多くの観客を集めた。



2013年 愛媛県美術館「布と遊び、土と遊び」
 2014年 愛媛県美術館「フィンランドのライフスタイル」
 2015年 愛媛県美術館「フィンランドのライフスタイル」
 2016年 愛媛県美術館「フィンランドのライフスタイル」
 2017年 愛媛県美術館「フィンランドのライフスタイル」
 2018年 愛媛県美術館「フィンランドのライフスタイル」
 2019年 愛媛県美術館「フィンランドのライフスタイル」
 2020年 愛媛県美術館「フィンランドのライフスタイル」
 2021年 愛媛県美術館「フィンランドのライフスタイル」
 2022年 愛媛県美術館「フィンランドのライフスタイル」
 2023年 愛媛県美術館「フィンランドのライフスタイル」
 2024年 愛媛県美術館「フィンランドのライフスタイル」

石本藤雄デザインミュージアム 2. FUJIWO ISHIMOTO FLOW ERS Inc.

<石本藤雄 / 愛媛県での過去の展覧会②>



展覧会 : 石本藤雄展 - マリメッコの花から陶の爽へ
 会場 : 愛媛県美術館
 会期 : 2018年10月27日～12月16日
 来場者数 : 約 14,513人 (予算10,000人)
 観覧料 : 一般 1,200円 他




石本藤雄デザインミュージアム 2. FUJIWO ISHIMOTO FLOW ERS Inc.

<石本藤雄 / 周辺地域での近年の展覧会②>



展覧会 : フィンランドのライフスタイル～暮らしを豊かにするデザイン～ (グループ展)
 会場 : ひろしま美術館
 会期 : 2024年4月6日～6月2日
 来場者数 : 開催中 (20日間で10,000人突破) 石本藤雄 対談会には定員の2倍来場 (400人)
 観覧料 : 一般1,500円 他

石本藤雄デザインミュージアム 2. FUJIWO ISHIMOTO FLOW ERS Inc.

<石本藤雄 / 愛媛県での過去の展覧会①>



展覧会 : 石本藤雄展「布と遊び、土と遊び」
 会場 : 愛媛県美術館
 会期 : 2013年9月26日～10月11日
 来場者数 : 約 5,024人
 観覧料 : 一般700円 他

石本藤雄デザインミュージアム 2. FUJIWO ISHIMOTO FLOW ERS Inc.

<石本藤雄 / 周辺地域での近年の展覧会①>

展覧会 : フィンランドのライフスタイル～暮らしを豊かにするデザイン～ (グループ展)
 会場 : 高松市美術館
 会期 : 2023年4月15日～6月11日
 来場者数 : 約 13,000人 (予算10,000人) *過去最高観覧の来場者数を記録
 観覧料 : 一般1,200円

石本藤雄デザインミュージアム 3. MUSEUM FLOW ERS Inc.

(仮称) FUJIWO ISHIMOTO DESIGN MUSEUM
石本藤雄ミュージアム構想



（まとめ）「地域の文化的、経済的な発展への寄与」

【特長】石本直雄の存在

愛媛県・松山市出身の石本直雄は、フィンランドを代表するブランドで歴代賞二位の功績を収め、陶芸家としても世界的に注目されるアーティストです。彼の最大成となる本ミュージアムは、国内外への訴求力を持ち、幅広い人々を惹きつける場となります。

【特長】世界一のアーカイブ保有量

本ミュージアムは、石本直雄の世界一のアーカイブを保有しています。
 【例】・石本直雄がデザインしたMarimekkoのファブリック（1974-2006年）1,500点以上
 ・石本直雄が制作した陶器作品（1980年代以降）150点以上
 ・遺書、現在進行中のデザインスケッチやその他の記録

これらは、国内外の人々に愛顧から生まれたアートとデザインの魅力を伝え、文化的財産として地域に貢献することが期待されます。

【先見性】地域の文化的、経済的な発展への寄与

意義：

石本直雄のデザインは、自然からの感得や身近な「よるこび」を伝える教育の力を持ち、国内外で評価されています。日本の製作の価値にある「愛蔵の価値、人、文化などの価値観」共に顕示することで、多層性の事業や仲間を創出でき、コミュニティの発展に寄与することが期待されます。

展望：

本ミュージアムは、愛蔵の文化的、経済的な相乗効果を集め「地域への愛着や誇り」を育む場を目標とします。地域の発展にとっても日常的に訪れたい文化的な場として親しまれることを目指し、人と人との繋がりがりを大切にする場所として、地域社会に根ざした活動を展開します。



最後に

私達は地域資源を活用して、LOCALのエンタメ化にチャレンジしていきます。

テーマパーク
 ショップ
 レストラン
 ホテル

それぞれの分野で、LOCALの特色を活かした、唯一無二の体験価値を提供します。

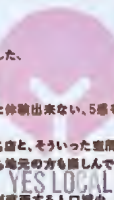
私達がやりたいのは、そこに足を踏まないで体験出来ない、5感を刺激する特別な空間を生み出す事です。

歴史ある観光シンボルやいわゆる地元の名店と、そういった空間が繋がっていく事で、街全体が大きなテーマパークのような関係性を持ち、観光の方も地元の方も楽しんで頂けるLOCALのエンタメ化を実現します。

それら一連の活動を通じて、これから日本が直面する人口減少、少子高齢化による後継者不足といった問題の解決に貢献できる会社に成長していく事を目標とします。

人口減少という大きな流れに逆らうことなく、それを受け入れた上で、より豊かにより楽しく暮らせるLOCAL創りに貢献し、そこで暮らす一人一人が自分の街にYESという誇りを持つように。

YES LOCALを日本中に生み出す事が私達の大きな目標です。



愛媛県内で想定されるアトラクションイメージ （あくまで妄想段階です）

松山市内に地域資源をテーマにした観光の目的となるアトラクションを創設。その間にショップやレストラン、ホテルを展開。

今後の展開施設予定

- 1 「石本直雄デザインミュージアム」
- 2 「10FACTORY MUKANPARK」
- 3 「マガイパーク」
- 4 「伊織Towel World」
- 5 「はだか宮ランド」